令和７年度第３回富津市学校運営協議会（富津小学校）会議録（要旨）

○ 参加者

〔会長〕　髙橋　廣

〔委員〕　川口　泰明　　宮川　小百合　　石倉　美和　　鈴木　規幸　　飯田　裕美

　　　　　平野　一幸　　小堀　由紀

〔事務局〕小谷　美和

○　概要

（１） 学校ボランティアについて

　前回の学校運営協議会を受け、髙橋会長から「挨拶運動」について、川口副会長から「富津小学校応援隊の募集」について、富津地区区民に説明の文書を回覧し、広めたいとの提案があった。両者文書を用意してくださり、それを見ながら取り組みについて、また文書の内容について、委員で検討をした。

① 「挨拶運動」

〈要旨〉 小学校では挨拶の励行をしている。区民も子どもたちの見守りの意味も込め、積極的に挨拶の声かけをして欲しい。お願いの文書を地区に回覧してはどうか。

　挨拶を交わすことは、当たり前のことである。さらなる活性化を目指していきたい。地域にお願いすることについて、委員からは賛成の意見が多かった。４月に文書を各地区で回覧し、広めることとなった。

② 「富津小学校応援隊の募集」について

〈要旨〉 小学校では少子化の影響により、ボランティアの担い手が不足している。区民で学校運営に係る活動（校舎の窓拭き、草刈り、あいさつ運動の啓発等）を手伝う有志の集まり「富津小応援隊」を組織したい。（メンバーとして登録をしても、都合のつくとき、短時間の参加でよい。）今後、文書と参加申込書を地区に回覧し、募集をする。

　川口副会長からの説明を受け、委員からは、登録するにはハードルが高いと感じる人が多いのではないか、ボランティアが必要な時期と具体的内容を提示した方が協力しやすいのではないか、などという意見が出された。しかし、その一方で、行動を起こさないと何も始まらない、まずやってみることで、だんだんと広げていくこともできるのではないか、という意見もあった。

　意見交換の結果、「挨拶運動」と同様、４月に各地区で回覧し区民に知らせることに決まった。より区民の目がとまりやすい文書の工夫についても意見が出された。

（２） 児童の様子について（「ありがとうさようならの会」を参観して）

　「ありがとうさようならの会（６年生を送る会）」を体育館にて実施。委員に参観していただいた。一人一人が役割をしっかりこなそうとする姿、みんなでまとまってつくり上げている姿、６年生の頼もしい姿。各委員とも、よく児童のがんばる姿を見てくださり、たくさんのあたたかい感想を聞くことができた。